

輝く未来のために頑張る方々をご紹介します。

クローズアップ[★] Vol.27

輝く未来へのチカラ

NPO法人 ウィッグリング・ジャパン
未病外来プロジェクト「私の保健室」
代表 上田 あい子 さん

「未病」で相談できる 「保健室」をめざして。

「正しい知識を得て、自分の体をケアすることも女性の自立の一步」と語る上田さん。

【NPO法人 ウィッグリング・ジャパン】女性がん患者が、抗がん剤の副作用(脱毛)で受ける精神的負担を軽減したいと、2011年、NPO法人を設立。がん治療を乗り越えた女性から、闘病する女性へとウィッグをリユース(無料レンタル)する活動をはじめ、患者の交流サロンやヘルスケアセミナーを開催。昨年12月には、未病外来プロジェクトとして「私の保健室」を開設した。
【公式HP】<http://www.wig-ring.info/>

さまざまな角度から、女性がん患者へのサポート活動を行っている「NPO法人 ウィッグリング・ジャパン」が新たに立ち上げた、未病外来プロジェクト「私の保健室」。代表の上田あい子さんに、活動に込めた願いを伺いました。

心と体のケアに悩む 女性の声から生まれました

これといった症状

はないけれど、何か

おかしい。でも、「未

病」の段階では、な

かなか相談できる場

所がない。そうこう

しているうちに、深

刻な事態になってし

まった。もっと早く

病院に行っておけば

良かった…。ウィッグ

リング・ジャパンでの女性

がん患者のサポートを通じて、

多くの方々がご

自分の心と体のケアについて悩んでいらつしやるこ

とを知りました。

多くの方が学生時代に保健室を利用したと思

うのですが、以前私が勤めていた会社にも保健

室があつて、ちょっとした相談ができました。と

ころが実際は、保健室を設ける余裕のある企業

は少なく、まして女性が専業主婦になった場合、

保健室とはますます無縁になってしまいます。

そこで、女性が不調のサインを出せる場所を

つくって、心身両面でケアができればと考えたん

です。未病の段階で女性の健康を取り戻すこと

ができれば、と。



「私の保健室」プロジェクトは、ウィッグのレンタル活動の中から生まれました。

「背中を押してもらった」と おつしやる相談者も

「私の保健室」でご相談にお答えするのは、お医者さんや看護師さんなど医療分野の知識をお持ちの方々を予定しています。育児やご主人の転勤などで仕事を辞めたけれど、また仕事をしたいという女性たちに、復職サポートの意味も込めてお願いしています。

実際のご相談で多いのは、病院の選び方ですね。どの病院にどんな検査の機械があるかとか、良い検査技師さんがいるとか、スタッフやウィッグリング・ジャパンの会員様から得た、現場を知る人しかわからない情報を提供しています。他にも、お話を聞きするだけで安心される方もいらつしやるけれど、「病院へ行くべきか迷っていたけれど、背中を押してもらえた」とおつしやる方もいらつしやるので、このあたりはまさに「保健室」ですね。今後は、医療機関の見学ツアーや医療セミナーなどのイベントにも力を入れていく計画です。

人生って、人や情報との「出会い」で大きく変わると思っています。誰もが正しい情報を得られて、誰もが勇気をもらせる場所。「私の保健室」を、そんな場所にしていただけたら良いですね。



女優の原千晶さんを招いてのイベントも開催。